



外国出張報告書

平成 26 年 7 月 31 日

1. 出張国名 ブルキナファソ
2. 出張月 平成 26 年 5 月～7 月
3. 出張目的 改良かまどにかかる活動計画作成及び
改良かまどに係るベースライン調査：A

4. 成果の概要

村民が作成した改良かまど（FA）にかかる活動計画案を参考に活動計画を作成した。改良かまど導入に適用される CDM 方法論（AMS-II.G）の算定式で必要とされる FA 導入前のかまど 1 基当たりの薪消費量： B_{old} を特定するためのベースライン調査を実施した。

調査の手順としては、①現況かまどの確認、②導入 FA の選定、③活動計画（AP）の決定、④調査対象女性の選定、⑤調査説明及びプレテスト、⑥FA のデモンストレーション、⑦FA 導入前薪消費量調査、⑧FA の配布、⑨導入後薪消費量調査である。

昨年度調査での①及び②にかかる収集データをもとに、
今回調査では②から⑧までを行った。

⑦FA 導入前薪消費量調査では、従前の対象かまどである三石かまど 1 基当たりの No.3 の鍋（導入後の FANo.3 に対応したもの）に使用された 7 日間の薪の消費量及び女性が所属する家族の 7 日間の薪の全体消費量のデータを得た。

No.3 の鍋による 7 日間の薪消費量は平均 14.0kg、家庭の全部の鍋を対象とした 7 日間の薪消費量（女性一人当たり）は平均 50.2kg であった。

次回調査は FA 導入後薪消費量調査を 9 月下旬に予定している。